



未来の子どもたちのために 桑原としひこ通信

平成29年(2017年)8月9日発行 Vol.8 討議資料

夢を実行する!

みなさんこんにちは。今回の桑原としひこ通信には、3月及び6月議会での一般質問と、沼田市利根町に5月29日に開校しましたドローン技能訓練校についての内容を掲載いたしました。そして今回の花絵シリーズは、ひまわりを描きました。今年の暑さは異常です。みなさん熱中症にならないよう気を付けて下さい。今後共よろしくお願ひ申し上げます。

平成29年3月議会 一般質問	●沼田市環境基本計画について	質問内容
	A 自然環境の保全と再生について	①環境変化に対する社会的変化や動向を踏まえた自然環境の保全と再生について
	I 自然との共生について	①環境保全の助成プラン活用について ②自然との共生の具体的な取組みと予想される効果について
	U 生活環境の保全について	①放射能汚染の今後の対策について
	E 計画・エコの実プランについて	①現時点での温室効果ガス削減効果について ②エコの実プランの地域を巻き込む具体的な対策について

Q1 環境変化に対する社会的変化や動向を踏まえた自然環境の保全と再生について
A1 昨今の気候変動に伴う異常気象の発生は、豊かな森林や清流に育まれた本市においても、農産物への影響、生物生息環境の変化などが懸念されております。また、資源やエネルギーの大量消費・大量廃棄型社会の広がり、日常生活や産業活動を便利で豊かにしたものの、環境負荷が増大するなど、身近な生活環境から自然環境にさまざまな変化をもたらしてきていると認識しております。

Q2 環境保全の助成プラン活用について
A2 市が実施する事業につきましては、環境保全に係る農林水産省や環境省など、国の機関等の助成制度を有効に活用し、各種施策を実施してまいりましたが、今後も引き続き、推進してまいりたいと考えております。

Q3 自然との共生の具体的な取組みについて
A3 具体的な取組の一つとして、生物多様性の確保という観点から、環境関連団体や利根沼田森林管理署等と連携して、玉原地区で外来生物の坊除作業を行っております。

Q4 放射能汚染の今後の対策について
A4 今後の対策といたしましては、国の動向を注視するとともに、定期的なモニタリングを継続して行い、生活空間における空間放射線量を把握し、その結果を適切に情報提供することで、市民の皆さんが、安心して暮らせるよう努めてまいりたいと考えております。

Q5 現時点での温室効果ガス削減効果について
A5 エコの実プランの改定時点のデータでは、2012年で、本計画の基準年である2007年と比較して8.1パーセント減少しております。

Q6 エコの実プランの地域を巻き込む具体的な対策について
A6 市については、地球温暖化防止のための情報提供、再生可能エネルギーの導入及び、活用支援などを推進していくとともに、事業者として市役所の温室効果ガス削減目標を掲げ、エコの実プランと一体的に取組を推進しております。

平成29年6月議会 一般質問	●沼田市第六次総合計画について	質問内容
	A 農業のブランド力と交流による元気創生のまち作りについて	①農業の担い手育成の取組みについて ②強い農業の創造に向けた取組みについて ③農泊の推進について
	I 国土強靱化を視野に入れた林業の取組みについて	①林業の担い手育成の取組みについて ②CLT等の開発・普及について ③沼田市国土強靱化の取組みの現状について
	U まちづくりの将来について	①地元高校との連携の現状と今後の取組みについて

Q1 農業の担い手育成の取組みについて
A1 本市といたしましても、担い手育成のため農地中間管理事業を活用した意欲ある農業者へ農地の利用集積の推進、新規就農者への支援及び就農後の定着を見据えた支援体制の構築等を群馬県及び関係団体と連携を図り推進してまいりたいと考えております。

Q2 強い農業の創造に向けた取組みについて
A2 各種補助事業を活用し、農業の機械化の導入生産性の拡大について支援を継続するとともに、生産性の向上を目的とする新技術の活用についても、調査研究してまいりたいと考えております。

Q3 農泊の推進について
A3 農山漁村の所得向上及びインバウンドを含む観光客を呼び込み、地域の活性化を図るための農山漁村滞在型旅行をビジネスとして実施できる体制を整備するものと承知しております。情報収集等を行い研究してまいりたいと考えております。

Q4 林業の担い手育成の取組みについて
A4 本市としても林業の担い手の確保・育成は重要な課題であると考えており、県の森林整備担い手対策事業を通じて、事業者が負担する社会保険料の一部を補助し、より多くの人材を確保していただけるような環境づくりを行っております。

Q5 CLT等の開発・普及について
A5 今年度より利根沼田地区において利根沼田CLT推進協議会が発足予定であり、協議会と連携して推進してまいりたいと考えております。

Q6 沼田市国土強靱化の取組みの現状について
A6 本市におきましては、県内の市町村に先駆けて昨年11月に国の出前講座を開催したところでありますが、総合計画をはじめとする、他の計画との整合性や脆弱性の評価等、計画の策定にあたっては、課題も多くあるものと考えております。今後につきましては、県内各市の策定状況等を見据えた上で、沼田市国土強靱化地域計画の策定を検討してまいりたいと考えております。

Q7 地元高校との連携の現状と今後の取組みについて
A7 沼田を元気にしていくためには、将来を担う高校生の新しい感覚と柔軟な発想が必要であり、今後とも地元高校との連携を図ってまいります。と考えております。



ドローン技能訓練校が開校しました!

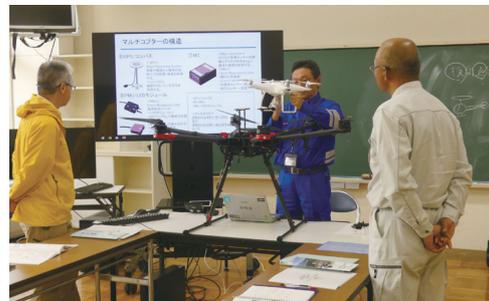
皆様のおかげで5月29日に、昨年廃校になった旧平川小学校を利活用して、ドローン技能訓練校が開校しました。この訓練校では、JUIDA 認定操縦技術と安全運航管理者の認定が取得できます。開校式には尾瀬高校と利根実業の生徒さんを招待し、ドローンの可能性について発表していただきました。「尾瀬の自然環境調査」や「これからの農業」にドローンの使い道を考えている生徒さんもありました。今後訓練校では特別講習として、ICT 土工(ドローン測量データと無人重機との連動)などのコースも増やしていきます。また、危険区域の見える化や、鳥獣害対策にドローンを活用させるため、調査研究を行っています。いち早くドローンの可能性を沼田市に取入れ、当市の各種産業の発展につながるよう努力していきます。



開校式(平川小体育館)



横山市長に御挨拶をいただきました



座学の様子(2日間)



開校式で行われた訓練のデモンストレーション

新聞記事H29年5月30日 上毛新聞

開校式で桑原敏彦校長は「安全第一の操縦技術を指導し、地域に根差したドローン事業を展開したい」とあいさつ。同アカデミー理事の青柳剛貞建設業協会会長は「ICT(情報通信技術)の活用が進められる中、1人でも多くの技術者が施設を使い、ステップアップし

てほしい」と述べた。終了後、出席者は訓練のデモンストレーションを見学した。日本UAS産業振興協議会(JUIDA)の認定スクールで、昨年3月に廃校となった同小を市から無償で借り受けて開設された。防災や建設の現場をはじめ

一般社団法人「利根沼田テクノアカデミー」のドローン技能訓練校の開校式が29日、沼田市利根町の旧沼田平川小で開かれ、国土交通省や県、市、業界関係者約50人が祝った。

ドローン技術学んで 沼田廃校跡に認定訓練校

め、鳥獣害対策、農林業などでドローンを活用する人材を育成する。

講習は4日間で、校舎で座学、体育館や校庭で実習をする。定員5人で月3回開講する。受講料は約30万円。1回目は5日にスタートする。

また、開校を記念したドローンフェスティバルが30日まで、同校で開かれている。29日にデモフライトや討論会を実施、30日は講演会を予定している。



実技の様子(ドローン操縦2日間)



あとがき

今回の花絵はひまわりを描きました。花言葉は「あこがれ」です。ひまわりはいつも太陽を追いかけます。つねに上を向きその元気な姿を見習って、私も議員活動を精一杯がんばります!

桑原としひこ後援会

沼田市町田町257 TEL.0278-23-0400 Fax.0278-25-3072
http://www.facebook.com/kuwabaratoshihiko



絵花シリーズ⑧ ひまわり